

慈烏反哺

小坂井中・2 岩山 成美

最近、私のお母さんは今まで以上に忙しそうにしています。ある時、お母さんがこう言いました。

「なんでママばかり。」

少し前から私のお父さんは、足が痛いと言い、いろいろと検査をして、二週間ほど入院をしていました。お父さんが入院をしている間、お母さんは毎日お見舞いに行っていました。

仕事が終われば、お見舞いに行き、帰ってきたらすぐ夜ご飯を作り、そのあとは私のバスケの練習のお迎えに来ます。私は、バスケから帰れば、すぐにお風呂に入り、ご飯を食べて、自分の時間をゆっくり過ごしています。

しかし、お母さんはそのあとで食器を洗い、ほかの家事をやってくれています。そうすると、寝るのは十二時近くです。それでも、次の日の朝は誰よりも早く起きます。自分の支度をすぐに終わらせて、お姉ちゃんとお兄ちゃんのお弁当を作り、朝ごはんを作り、ごみを集めて捨てに行きます。それらが終わるとすぐに仕事に行きます。そして、帰ってくれば、私をバスケの練習に送り、お見舞いに行つて、ご飯を作る。そんな日々の繰り返しでした。

お父さんは、退院してからも、足が痛くて立っているが辛いようで、ほとんど横になっています。お父さんに

「お茶と薬持ってきて。」

と言われれば、お母さんはすぐに取りに行きます。お母さんが一人でやっている家事ですが、今まではお父さんと二人でやっていました。お父さんはなんだからできることが減って、今まで以上にお母さんに負担がかかっています。

そんな中でも、休日には私のバスケの試合を見に来てくれます。いつも忙しいので、休日くらいは休んでほしいと思う反面、見に来てくれるのがうれしいので、休んでと言えません。それに、お母さんは先にお風呂に入っておいでなどとも言ってくれたりするし、バスケの練習に持っていくお茶なども用意してくれています。

忙しい中、自分よりも私や家族のことを考えてくれているお母さんには感謝しかありません。

でも、そんなことに気づいていたにも関わらず、なにも手伝おうとしていませんでした。ずっとずっと前から気付いていたのに。お母さんの優しさに甘えてなにもすることができませんでした。

私とお姉ちゃんがSNSをみて楽しんでいるとき、お母さんはいつものように家事をしていました。それから、お母さんがいつもは言わない言葉をため息をつきながら溢しました。

「なんでママばかりこんなをやっているんだろう。」

私は、初めてお母さんの弱音を聞きました。ああ、もともと前から何かできることはたくさんあったのにどうしてやらなかったんだろう。と思いました。そして自分にむかつきました。お母さんは私が思っている以上に大変でいろいろなことを我慢していたんだなと思い、申し訳ない気持ちで胸がいっぱいになりました。

まずはすぐに行動だと思い、その日の朝はお母さんの代わりにごみ捨てをしました。帰ってきてからは、一緒にご飯を作りました。一緒にご飯を作ってみてお母さんの負担は減ったかは分かりませんが、少しお母さんの役に立てた気がしました。

それでも、お母さんは次の日の朝は早く起きて、いつものようにいろいろな家事をしていました。それをみて私は、昨日は昨日で役に立ったかもしれないけど、まだまだ全然できていないと思いました。そこで、その日から三つのことをするようにしました。

一つ目は、みんなの食器を洗うことです。今までたまに食器を洗うことはありましたが、毎日やることにしました。毎日やるとな

ると今日は面倒くさいいかなと思ってしまうことがあったけど、お母さんはいつもやってくれていると思い、頑張りました。お母さんは手が荒れやすいので、私が洗い出してからはとても喜んでるように見えました。

二つ目は、毎日のごみ出しをすることです。ごみ出しは日によって出せるものが違うし、一か月に二回しか出せないごみがあったりするので、初めは何を出す日なのか分からなくて大変でした。今では大体は覚えたので少しは楽になったけど、朝の時間がない中で、みんなの部屋を回ってごみを集めるのは大変です。

三つ目は、感謝の気持ちを伝えることです。毎日一回はバスケット送ってくれてありがとうやご飯おいしかったよなどの感謝の言葉を使うようにしています。そうするとお母さんはいつもありがとうと言ってくれます。感謝を伝えるだけで、相手も自分もいい気分になれるので感謝はとても大事だと思いました。

私は、今まで目の前に見えていることから目を背けていましたが、実際にお手伝いをする事でお母さんのありがたみを感じました。

私がお母さんの手伝いを始めてから、お母さんはいつもよりゆっくりにしている時間が多くみられるようになりました。以前より元氣にもなったような感じもします。そのようなお母さんをみているとこっちまでうれしくなってきます。

実際に、お母さんに私が手伝っていることをどう感じているのかを聞いてみました。そうすると、

「最近はお美が手伝ってくれるおかげでママの負担が減って助かってるよ。」

と言ってくれました。それを聞いて私は、「今まで少しずつ手伝ってきたことは無駄じゃなかったんだな。」と思いました。

「慈烏反哺」

子供が親の恩に報いて親孝行を尽くすことという意味の言葉です。私はこの四字熟語を知ったとき、今からたくさんお母さんや家

族の手伝いをしていきたいと思いました。自分で決めたことはしっかりと継続してプラスでいろいろなことをして、家族に尽くしていきたいと思います。

目を背けることは、簡単だけど、それに気づいて行動することはとても難しいことだと気づきました。そのことに気づけた今、これからたくさん人の役に立って誰かを笑顔にしていきたいと思いました。自分一人ではできないことの方が多くと思います。そんな時は、周りの人に助けを求めて周りのみんなで助け合っていくことも大切だと思いました。

これからも家族、特にお母さんへの感謝を忘れずにしていきたいし、自分は誰かに何かをしてあげて感謝をたくさんされる人になりたいです。

お母さん、いつもありがとう。